



第32号

平成29年2月発行

～しんぷう～

松阪飯南森林組合

## 森風によせて

代表理事組合長 上田 和久

寒さ厳しき折、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また平素は森林組合の各事業に対しまして組合員の皆様、関係各位にご理解、ご支援、ご協力をいただいていることにお礼申し上げます。

我が国の経済につきましては、一部大手企業は緩やかに景気回復をしていますが、力強さは無く、日銀の金融政策でマイナス金利の影響もあり、個人消費は伸び悩み経済の停滞等で消費税の増税は再延期の状態となっています。また、これから先、米新政権の政策運営次第では我が国の経済に対してプラスになるかマイナスになるかの不確定要因があります。このような経済状況の中、地方の中小企業においては長期間にわたり厳しい状況が続いています。

森林組合におきましても来年度以降、補助事業関係予算が今年度に比べ益々減少し数年間は続く予定と聞き及んでいます。共販事業の小径木集荷の減少、原木価格においては、昨年より平均1,000円/m<sup>3</sup>下がっており、また、公共事業の減少などによる流通関連事業も減少し組合経営もこれから先、厳しい状況が続くと予想されます。

このような中、来年度から森林組合は全てを含めて見直す変換期を迎えており、そのためにもしっかりと情報を収集し営業活動に努力し、また経費削減に努め頑張っていきたいと考えています。また、本年度においては「森林・林業・山村未来創造運動」として森林組合運動方針を打ち立てる年でもありますので組合員の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

一昨年もりかつから始めました「森林活プロジェクト」事業に関しましては、組合員の皆様のご協力により今年度も12月末で出荷量が1,000tを超えました。また、平成30年には大手合板メーカーの多気町での稼働が予定されており、本格稼働をしますと原木を月産10,000m<sup>3</sup>消費していくと聞いております。更に、平成30年1月には小片野町内に新たな木質バイオマス発電所の建設も予定されています。このため平成30年以降は、原木の流通関連もかなり変わってくるのではないかと考えておりますので柔軟に対応していきたいと思っております。

役職員一同、これから先も一生懸命事業に取り組んでいく所存でございますので、組合員の皆様、関係各位のご協力、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。